施策の評価シート（令和５年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画		津市スポーツ施設整備計画			
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（番号）			103	～	106	

2　「施策の内容」の総合評価と今後の方向性

番号	施策の内容	「施策の内容」の総合評価 選択区分	今後の方向性 選択区分	担当課
103	スポーツ教室や講座、地域に一体感をもたらす運動会等のイベント開催を積極的に進め、スポーツの裾野を広げるとともに、地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者等の人材育成・確保に加え、市ホームページ等の多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます。	A	②	スポーツ振興課
104	スポーツ関係団体の活動を支援することにより、指導者の育成と競技スポーツを奨励し、競技力の向上を図ります。	B	③	スポーツ振興課
105	スポーツ施設については、平成30年（2018年）のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）、平成33年（2021年）の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた競技会場としての機能を整えるとともに、これを契機とした市民のニーズや団体のスポーツ振興のあり方などを踏まえながら計画的な整備を進めます。	A	①	スポーツ振興課
106	スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進するとともに、民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います。	B	①	スポーツ振興課

※「施策の内容」の総合評価…A=80点以上、B=60点以上80点未満、C=40点以上60点未満、D=20点以上40点未満、E=20点未満
※今後の方向性…①=効果的な事業構成であるため、方向性を維持、②=概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある、③=あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい、④=事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要

3　「施策」の総合評価

	区分	選択区分	総評（施策の進捗状況や効果等を端的に記載）
「施策の内容」の総合評価を根拠とした「施策」の総合評価	A　80点以上 B　60点以上80点未満 C　40点以上60点未満 D　20点以上40点未満 E　20点未満	A	指定管理者によるスポーツ施設の適切な管理運営、各種スポーツ大会・教室等の開催、競技に応じた技術向上のための事業への補助をはじめ、海浜公園内陸上競技場の改修に向けた基本設計や体育館アリーナ等の空調整備に係る実施設計を行ったほか、特に、津シティマラソンや吉田沙保里杯では令和5年度大会の参加者が前年度比増となるなど、スポーツの振興に向けた取組が進みました。

※総合評価は、「施策の内容」の総合評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	C	C	A	A				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133103
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			103	スポーツ教室や講座、地域に一体感をもたらす運動会等のイベント開催を積極的に進め、スポーツの裾野を広げるとともに、地域で活躍するスポーツ推進委員や指導者等の人材育成・確保に加え、市ホームページ等の多様な広報媒体を活用し、スポーツイベントに関する積極的な情報発信を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
103-1	スポーツ団体等活性化事業	スポーツ振興課	スポーツ・レクリエーションの普及・振興を図るため、スポーツ協会、スポーツ少年団、スポーツ・レクリエーション協会、地区体育振興会等の事業補助	効	スポーツ関係団体が、補助金を活用し、公共性のある適正な事業を行う	◆ 申請件数：63	◎	スポーツ関係団体への補助については、計画通りに事業を行うことができた。令和6年度には小学校区規模の事業を対象とした既存の地区体育振興会振興事業補助金に加え、中学校区規模の事業を対象とした地域スポーツ振興事業補助金を新設し、より一層のスポーツ振興につなげるべく制度を拡充する。令和5年度の補助実績は約99%であったため（決算額/予算額*100）事業評価を「◎」とした。
				誰	スポーツ関係団体、市内外の方	◇ 目標数値：補助実績100%	◎	
				何	本市におけるスポーツ関係団体の育成及びスポーツ・レクリエーションの普及・振興	39,300（千円）	拡充・充実	
103-2	少年少女レスリング選手権大会事業	スポーツ振興課	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催	効	県内外ジュニアレスリング選手たちが、津市少年少女レスリング選手権大会に参加する	◆ 参加者数：800人	◎	全国からジュニアレスリング選手が集まる吉田沙保里杯では令和5年度大会の参加者が883人と過去最大となった。津市が誇るジュニアレスリング全国規模の大会として継続してきたが、令和6年度に第10回大会という節目を迎えることから、今後の大会の在り方について見直す機会とする予定。 令和5年度の参加者数実績が883人（前年度比＋55人（令和4年度：828人→令和5年度：883人））であったため事業評価を「◎」とした。
				誰	県内外のジュニアレスリング選手	◇ 目標参加者数：800人	◎	
				何	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するとともに、市内選手の競技力の向上及びレスリング競技の普及・振興を図る	5,112（千円）	見直し	
103-3	津シティマラソン振興事業	スポーツ振興課	サオリーナを発着点として市街地を駆け抜ける津シティマラソン大会を開催	効	津シティマラソン実行委員会が、補助金を活用し、津シティマラソン大会を開催する	◆ 津シティマラソン大会の開催	◎	エントリー者数は、前年度の3,281人と比較して712人増の3,993人となった。 今後も引き続き津シティマラソンを通してスポーツ振興を図っていく。 令和5年度の参加者数実績が3,993人（前年度比＋712人（令和4年度：3,281人→令和5年度：3,993人））となったため、事業評価を「◎」とした。
				誰	市内外の人々	◇ 目標参加者数：3,281人	◎	
				何	津シティマラソンに参加し、津市を知ってもらうとともに、健康増進につなげてもらう	15,217（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

103-4	スポーツ競技力向上事業	市内アスリートの競技力向上を図るため、「ステップアップスクールin津」等を開催	効	スポーツ大会やスポーツ教室を開催する	◆ 大会及び教室数：4	◎	スポーツ教室としてステップアップスクールin津において馬術競技及び陸上競技を開催。スポーツ大会として津市・オザスコ市姉妹都市提携記念オザスコ杯争奪サッカー大会及び津市・鎮江市友好都市提携記念鎮江杯争奪卓球大会を開催。今後も引き続き競技力向上につながる事業を実施していく。 令和5年度実施大会及び教室数合計が4であったため事業評価を「◎」とした。（参考：4事業総参加者：1,558人）
			誰	市民及び市内団体	◇ 目標実施大会及び教室数：4	◎	
	スポーツ振興課		何	スポーツ大会やスポーツ教室に参加してもらい、競技力向上につなげる	3,250（千円）	現状維持	
103-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
103-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
103-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	②

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	D	D	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	②				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133104
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			104	スポーツ関係団体の活動を支援することにより、指導者の育成と競技スポーツを奨励し、競技力の向上を図ります。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
104-1	スポーツ競技力向上事業	スポーツ振興課	市内アスリートの競技力向上を図るため、「ステップアップスクールin津」等を開催	効	スポーツ大会やスポーツ教室を開催する	◆ 大会及び教室数：4	◎	スポーツ教室としてステップアップスクールin津において馬術競技及び陸上競技を開催。スポーツ大会として津市・オザスコ市姉妹都市提携記念オザスコ杯争奪サッカー大会及び津市・鎮江市友好都市提携記念鎮江杯争奪卓球大会を開催。今後も引き続き競技力向上につながる事業を実施していく。 令和5年度実施大会及び教室数合計が4であったため事業評価を「◎」とした。（参考：4事業総参加者：1,558人）
				誰	市民及び市内団体	◇ 目標実施大会及び教室数：4	◎	
				何	スポーツ大会やスポーツ教室に参加してもらい、競技力向上につなげる	3,250（千円）	現状維持	
104-2	全国高等学校野球選手権大会等出場激励金事業	スポーツ振興課	スポーツの振興及び競技力の向上並びに全国への情報発信を図るため、甲子園大会出場校等に対する奨励金の交付	効	全国高等学校野球選手権大会等に出場する市内高等学校が激励金を活用し、大会出場に係る経費に活用する	◆ 全国高等学校野球大会等に出場する市内高等学校への激励金交付件数	×	交付の対象となる、市内高等学校について該当が無かったため、当該激励金について今年度は交付を行うことができなかったため、実施評価、事業評価ともに「×」とした。今後の方向性として、現在、団体競技のみを対象としていることから、個人競技を含めた対象競技等について精査する必要がある。 令和5年度の実績が0件であったため事業評価を「×」とした。
				誰	全国高等学校野球選手権大会等に出場する市内高等学校	◇ 目標交付実績：1件	×	
				何	本市におけるスポーツ振興及び競技力向上の推進及び、出場大会での活躍が市民に夢や感動を与えることによる地域の一体感の醸成	0（千円）	見直し	
104-3	スポーツ大会出場報奨金事業	スポーツ振興課	全国大会等に出場する選手の参加費、交通費等に対する補助	効	全国大会等に出場した選手が報奨金を受け取る	◆ 全国大会等に出場した選手への報奨金の交付	○	令和5年度実績は令和4年度実績の8,090千円から1,936千円実績が増え、コロナ禍以前の規模でスポーツ大会が開催されていることが予想されるため、今後も継続して事業を実施していく。 令和5年度の交付人数が1,298人（前年度比＋232人（R4：1,066人→R5：1,298人））であったため事業評価を「◎」とした
				誰	全国大会等に出場した選手	◇ 目標交付人数：1,066人	◎	
				何	大会に参加した選手に対して、交通費等を補助し、大会に参加しやすい環境を作り、本市のスポーツの振興及び競技力向上につなげる	10,026（千円）	現状維持	

施策の内容評価シート（令和5年度分）

104-4	少年少女レスリング選手権大会事業	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するジュニアレスリング大会を開催	効	県内外ジュニアレスリング選手たちが、津市少年少女レスリング選手権大会に参加する	◆ 参加者数：800人		◎	全国からジュニアレスリング選手が集まる吉田沙保里杯では令和5年度大会の参加者が883人と過去最大となった。津市が誇るジュニアレスリング全国規模の大会として継続してきたが、令和6年度に第10回大会という節目を迎えることから、今後の大会の在り方について見直す機会とする予定。 令和5年度の参加者数実績が883人（前年度比＋55人（R4：828人→R5：883人））であったため事業評価を「◎」とした。
			誰	県内外のジュニアレスリング選手	◇ 目標参加者数：800人		◎	
	スポーツ振興課		何	「レスリング世界王者の故郷」として津市を全国に発信するとともに、市内選手の競技力の向上及びレスリング競技の普及・振興を図る	5,112（千円）	見直し		
104-5	スポーツ振興基金活用事業	競技団体の活動の灯を消すことなく灯し続けていけるよう、令和4年度から8年度まで競技に応じた競技人口の拡大や競技力向上のための事業への補助	効	各競技団体が補助金を活用し、競技人口の拡大や競技力向上のための事業を行う	◆ 競技スポーツ団体（19団体）、パラスポーツ団体（4団体）への補助金交付		◎	当初の計画を上回り競技スポーツ団体からは23団体、パラスポーツ団体は2団体の申請をいただき、補助金の交付を行ったことから実施評価、事業評価ともに「◎」とした。今後の方向性としては、令和8年度まで引き続き各競技団体への補助を行っていくことから「現状維持」とした。
			誰	各競技団体、各スポーツ競技者	◇ 目標交付団体数：競技スポーツ19団体、パラスポーツ2団体		◎	
	スポーツ振興課		何	スポーツの楽しさを知るきっかけづくりとスポーツ人口の裾野拡大や各競技に応じた技術の向上	15,417（千円）	現状維持		
104-6			効		◆			
			誰		◇			
			何		（千円）			

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	③

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	C	E	D	A	B				
今後の方向性	①	①	②	①	②	③				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133105
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画		津市スポーツ施設整備計画（令和4年度～令和11年度）			
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			105	スポーツ施設については、平成30年（2018年）のインターハイ（全国高等学校総合体育大会）、平成33年（2021年）の三重とこわか国体（第76回国民体育大会）及び三重とこわか大会（第21回全国障害者スポーツ大会）に向けた競技会場としての機能を整えるとともに、これを契機とした市民のニーズや団体のスポーツ振興のあり方などを踏まえながら計画的な整備を進めます。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	担当課	事業の内容	事業の目的		事業の評価			事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
				効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画		実施評価	
				誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点		事業評価	
				何	何のための事業か	決算額（千円）		今後の方向性	
105-2	スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	海浜公園内陸上競技場改修事業	効	運動施設利用者が海浜公園内陸上競技場の改修により、市レベルの陸上競技の大会や記録会の開催が可能となり、安全安心かつ快適な施設環境で運動ができる。	◆	海浜公園内陸上競技場改修事業に係る基本設計	◎	当初計画通り、令和5年度に基本設計業務を完了したことから実施評価、事業評価ともに「◎」、今後の方向性は「拡充・充実」とした。
				誰	運動施設利用者	◇	目標：業務（基本設計）の達成度が100%	◎	
				何	海浜公園内陸上競技場の改修により、市レベルの陸上競技の大会や記録会の開催が可能となり、安全安心かつ快適な施設環境を提供することができる。	13,706（千円）		拡充・充実	
105-2	スポーツ施設整備事業	スポーツ振興課	体育館アリーナ等空調整備事業	効	体育館（安濃・久居・芸濃・一志）アリーナ等に空調設備を設置することにより、運動施設利用者の運動時の熱中症対策につながるとともに、指定避難所として避難者に対しての機能向上を図ることができる。	◆	体育館（安濃、久居）の空調設備設置工事に係る実施設計	◎	当初計画通り、令和5年度に体育館（安濃、久居）の空調設備設置工事に係る実施設計業務を完了したことから実施評価、事業評価ともに「◎」とし、今後の方向性は「拡充・充実」とした。
				誰	運動施設利用者、避難者	◇	目標：業務（実施設計）の達成度が100%	◎	
				何	体育館（安濃・久居・芸濃・一志）アリーナ等に空調設備を設置することにより、運動時の熱中症対策につながるとともに、指定避難所としての機能向上を図ることができる。	6,732（千円）		拡充・充実	
105-3				効		◆			
				誰		◇			
				何		（千円）			

施策の内容評価シート（令和5年度分）

105-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
105-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
105-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
105-7			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	A

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	A	A	B	B	A	A				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

施策の内容評価シート（令和5年度分）

1　計画における位置付け

政策体系	総合計画	目標	05	自分らしく心豊かに輝けるまちづくり		
		基本政策	11	スポーツや文化の輪が広がる社会の形成	管理コード	051133106
		施策	33	スポーツの振興	本冊ページ	83
	関連個別計画					
担当部局			スポーツ文化振興部			
施策の内容（第2次基本計画）※目指す方向性・各事業の実施により期待される効果			106	スポーツ施設の積極的かつ有効な活用を図り利用を促進するとともに、民間活力も積極的に導入し、効果的・効率的な管理運営を行います。		

2「施策の内容」に係る主な事業の評価（事務事業評価）

番号	事業名	事業の内容	事業の目的		事業の評価		事業の振り返りとこれから（実施評価、事業評価、今後の方向性を選んだ理由）
	担当課						
			効	事業の実施により直接的に表れる効果	◆ 当初の事業実施計画	実施評価	
			誰	誰のための事業か	◇ 事業評価の主な視点	事業評価	
			何	何のための事業か	決算額（千円）	今後の方向性	
106-1	運動施設維持管理事業ほか（指定管理者制度）	産業・スポーツセンター、津地域、安濃地域運動施設について、指定管理者による管理運営及び津市民テニスコートにおいて指定管理者制度の導入	効	施設利用者が民間事業者のノウハウを活用した効果的・効率的な管理による安全、安心な施設環境の提供及び自主事業実施による恩恵を受けることができる	◆ 各施設の目標利用者数等の達成	○	当初事業計画における目標利用者数未達となった施設が一部あったものの、自主事業の新規展開をし、また物価高騰が進む中で公共サービスとしての質を保ちながら管理運営が行われた。 令和5年度の目標利用者数について、達成度合いは目標利用人数を設定している19施設中10施設の平均が47%となった。また、全ての施設で目標自主事業達成率は100%となったことを踏まえ、事業評価を「○」とし、今後の方向性は「拡充・充実」とした。
			誰	施設利用者	◇ 目標利用者数達成度：50%以上 目標自主事業達成度：100%	○	
	スポーツ振興課		何	施設の効果的、効率的な管理及び自主事業実施によるスポーツに携わる機会の創出	296,304（千円）	拡充・充実	
106-2			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-3			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

施策の内容評価シート（令和5年度分）

106-4			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-5			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-6			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		
106-9			効		◆		
			誰		◇		
			何		（千円）		

※実施評価（計画どおり実施したか）…◎=計画を達成（100%以上） ○=概ね計画どおり（80%以上～100%未満） △=計画を下回った（50%以上～80%未満） ×=計画を大きく下回った（50%未満）
※事業評価（効果があったか）…◎=大いに効果が認められる ○=ある程度の効果が認められる △=あまり効果がなかった/事業完了前につき効果の発現に至っていない ×=効果を測定できない
※今後の方向性…（さらなる）拡充・充実、現状維持、見直し、廃止、完了

3 「施策の内容」の総合評価

	区分	選択区分
実施評価・事業評価を根拠とした「施策の内容」の総合評価	A 80点以上 B 60点以上80点未満 C 40点以上60点未満 D 20点以上40点未満 E 20点未満	B

4 今後の方向性

	区分	選択区分
今後の施策の内容の方向性	① 効果的な事業構成であるため、方向性を維持 ② 概ね効果的な事業構成であるが、一部見直し等の余地がある ③ あまり効果的な事業構成ではないため、見直しの余地が大きい ④ 事業構成に問題があるため、抜本的な見直し等が必要	①

※総合評価は、主な事業の実施状況（実施評価）、事業対象者への効果（事業評価）の評価をポイント化したものをベースに自動的に判定しています。
※今後の方向性は、施策の内容の総合評価および主な事業の今後の方向性をベースに自動的に判定しています。

計画期間における達成状況

年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
総合評価	B	B	B	B	B	B				
今後の方向性	①	①	①	①	①	①				

※計画期間である平成30年度（2018年度）から令和9年度（2027年度）の本施策の内容に関する推移を示します。

.